

巻末情報ページ

このページは直接学習とは関係ありません。
情報としてお役立てください。

レポート作成の秘訣 50

〈連載コラム〉これからを考える 53

在学生アンケートにご協力ください 55

聖徳通信掲載用 在学生アンケート「2012年レポート&科目終了試験」



レポート作成の秘訣

レポートを提出してもなかなか合格できずに悩んでいる方や、レポートってどうやって書けばいいのか分からないという方へ。通信教育学務課では卒業生を対象としたアンケートを実施しました。先輩の意見を参考に、今後の学習に活かしてみたいはいかがでしょうか。

保育科 埼玉県在住 平成24年3月卒業

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A レポート作成に行き詰まった時の対処方法は

- ①他の科目を先に取り組みました。
- ②参考文献を3冊は必ず読むようにして(1つのレポートにつき)、図書館で、参考文献を返却する際に関連する本を借り、(不合格の場合に備えて)読んでいました。
※参考文献を読んで時間が経過すると、ところどころ内容を忘れるので、要約ノートなどメモはした方が良いと思います。
- ③何度もレポートが不合格で返却された時は、いったんその科目を置いておき気分転換に外出(好きなことを)したり友人とランチに行きました。
- ④客観的にレポートを分析するために…
一生懸命作成してもレポートではなく自分の作文になってしまいがちだったので、家族や友人に一度、読んでもらいました(アドバイスも頂きました)。

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

- A**
- ①テキストをひと通り読み、その科目がどのような学習内容なのかをおさえます。
 - ②レポート課題を選択します(一番書きやすいもので良いと思います)。
 - ③参考文献を図書館や本屋で選びます(私はインターネットをしませんので)。インターネットで検索しても良いと思います。
 - ④レポート課題について参考文献などで詳しく調べ、独自のメモノートを作成(どう思ったか、どう対応すべきか、など)時々、テキストも見直します。
 - ⑤下書きをします。
文字数が決まっていますので、段落分けなどここできちんとします。
 - ⑥起承転結、まとまったレポートが書けた、と思ったら清書します。

- 勉強していた場所(自宅と図書館)
- レポートの提出ペース1ヶ月に2つ
- 時間(仕事の日以外か早朝)

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

- A**
- 家業を手伝っています(年内に保育園の就職先を見つけることが目標です)。
 - ピアノが昔から好きなので、休日はピアノを1時間程弾いています。
 - 朝のTV番組で子どもの成長や親子の関わりなど見て、学習しています。

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A 卒業まで10年もかかってしまったので、ほとんど参考にならないかも知れません。必ず3年で卒業することを決め、数科目を残し、2年間でほとんどの課程を終えましたが、諸事情が重なり、一時、レポート作成を休みました。再度取り組み始めたときには、優先順位が下がり、持続力が続かず、中々進みませんでした。自分のお金とはいえ毎年、在籍料だけを納めているのが無駄に思えましたが、30歳を過ぎて初めて触ったピアノを毎日4時間も練習して、2年間で終わらせたあの頃の自分に申し訳なくて、やめることはできませんでした。

スローペースでも続け、昨年の震災のボランティア活動を機にラストスパートを掛け、ようやく書き終えることができました。

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A 私の場合ですが、毎日少しずつというのは(特にレポート作成の場合)苦手なので、時間を作ってやるようにしました。私は、まとめることも得意でなかったため、早い段階でレポート用紙に直接、鉛筆書きで書き始めました(レポート作成が進んでいるという実感が湧くので)。そして、それを清書した方が、早くレポートを出せた気がします。

入学当初の優先順位の高い時期から、時間を見つけて、継続して、レポート作成に取り組むことをおすすめします。私のように、優先順位が下がってからでは、とてもおっくうになってしまうので。通信生のみなさん、心より応援しています。

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 在学中から今に至って、数カ所の職場を掛け持ち、児童、障害児(者)、高齢者と関わっています。仕事の合間に、保育園や病院などを訪ね自作のエプロンシアターや紙芝居などもやっています。

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A ●入学したばかりの頃はレポートをどのように書いたらよいのか分からなかったので、「レポート・論文の書き方」という本を読みました。

文章を書く為の基本的な決まり事や、文献の探し方なども書いてあったのでとても参考になりました。

●レポートを書く際には、「シラバス・レポート課題集」の中のレポート評価の要点をよく読みました。またはスクリーニングの際に何人かの先生にレポートの書き方について質問をしました。

●レポートに行き詰まった時は、1時間程休憩しました。休みを入れた方が、その後集中して書けると思います。どうしても書けない場合はその日はやめて翌日取組みました。

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A ●レポートに取り組む場所は家の近くの図書館か自宅でした。1日の流れは午前10から12時まで自宅で勉強をし、午後から仕事に行きました。仕事がない日は午後3時から6時まで図書館で勉強をしました。

●集中して学習する場合はレポートの課題(2課題)の文献を探す為、図書館で半日程過ごしました。本をノートに書き写したり、借りて自宅で重要な部分を書き写す作業を行いました。

1週間で本を読み、次の1週間でレポート課題を書くというスケジュールをたてて、2週間で1課題を終わらせるという目標をたてました。ただしスケジュールに無理がある場合はその都度変更しました。

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 福島第一原子力発電所の事故を受けて放射能が人体にどのように影響されるのかといった内容の講習会などに参加して勉強しています。除染の方法などを学び、子ども達が安心して暮らせる環境をつくっていきたいです。

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A まずは教科書、参考文献の関係する部分を読んでみて、レポートに使えるところに線を引いたり、メモを取っておく。学校で紹介してある参考文献は古いものが多いので、図書館や大きな本屋、インターネットなどで自分でも新しめの参考文献で調べてみるといいと思います。いい参考文献に出会えば、あとはそれらをもとに自分なりの考えや経験も含め、とにかく書いてみる。最初は、友達のリポートを読ませてもらうのもいいと思います。もちろん、書き方を知るという意味で。その際には必ず参考文献も教えてもらい、自分でも読んでみれば、また違う視点での自分なりのレポートが書けると思います。

最初は、興味のある課題のリポートからやってみるといいと思います。興味のある分野の本は読むのも苦にならないので。あと、教科は違ってても似ている課題もあるので、課題は先に全教科、目を通しておくことをおすすめします。

他の教科の教科書や参考文献が使えることもありますよ。

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A 目標は1課題、長くて2週間の最初はとにかく読んだりメモしたり情報収集する。私の場合は仕事・家事の終わった平日の夜、毎日約2時間。そして週末3〜4時間かけてまとめながら仕上げる。図書館にこもることもありますが、基本家でやりました。

最初は手書きでしたが、レポートのためにパソコンを購入し、慣れるまでは苦労しましたが、慣れれば改めて清書する手間が省けるなど確実に時間短縮につながるので、まだ手書きの人は是非挑戦してみてください。

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 4月より公立保育所で臨時保育士として働いています。絵本・紙芝居・保育についての本など週末の図書館通いは続いています。実際に保育の現場に出てみると、勉強不足、実力不足を痛感する日々ですが、4年間勉強し、卒業できたことを心の支えに今は毎日格闘しています。

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A ①興味のあるレポート課題から書く。

書かないことには何も始まらないので、少しでも興味を持った課題から進める。最後には興味のないレポートが残るが、あと少しで卒業だからと頑張ってレポートを書こうと思う。

②関連性の高い科目はまとめて書く。

図書館から借りる本がまとめて済むという利点もあるが、同じような分野であればあるほど1度にまとめて学ぶことで理解度が増すような気がしたのでおすすめします。

③毎月1科目は試験が受けられるように努める。

とにかくレポートを出すこと。友達を作り、月1回会える試験の日に会う約束をする。会えることを楽しみに勉強できるようにする。

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A 自宅で休日の午後に集中してレポートを作成しました。本などの資料はそれまでに用意して、書き上げるのだけその休日にまとめてしていました。

レポートは締切りに間に合わない時は前日まで書き、仕事の後に大学へ持参したこともありました。

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 出産予定の為、仕事を辞めましたが、また保育の現場に戻りたいと考えています。今は認定心理士の資格取得を目指しています。

これからを~~考~~える。

聖徳大学の学びのフィールドは広く、あらゆる方面に実績を残しています。

各学科の教員が発信する、さまざまな学問分野の魅力がたくさん詰まった“連載コラム これからを考える”をお楽しみください。

05

日本文学科 教授

新藤 協三

〈担当科目：国語Ⅳ～Ⅲ、国語Ⅴ～Ⅰ、奈良・平安時代文学史Ⅰ・Ⅱ〉

「正しい日本語を将来に残す」

日本古典文学を研究し、大学で講義することに如何なる意味があるのか。39年間大学の教壇に立って問い続けて来た課題であるが、未だ明確な答を得ないでいる。講義を通して正しい日本語を教えること、これが至り得た結論の一つであるが、いくつか例をあげて説明したい。

日本語の特徴の一つに、複雑、高度に発展した敬語体系が指摘される。それは、現代語よりも古典語の世界に、より顕著に窺うことができる。たとえば、「女御更衣あまたさぶらひ給ひける」(源氏物語)の「さぶらひ」・「給ひ」の如く、謙譲語と尊敬語とを併用する類で、現代語には見られぬ特性を示す。

ところで、最近テレビのアナウンサーなどの「～先生が御多忙のところお越しいただいて」のような言い方をよく耳にする。「いただく」は謙譲語だから、「～先生がお越しくださる」と尊敬表現にするか、「～先生にお越しいただく」と助詞を改めるなどしないと、正しい敬語とは認め難く、牽強附会を自覚しつつも、古典文学を講ずることで、如上の誤用を是正したいと考えている。ただ、“悪貨は良貨を駆逐する”の譬えで、「食べれる」、「出れる」等の「ラ抜き言葉」の氾濫・横行は、もはや手の施しようもなく、慨嘆の極みである。衆寡敵せずで、いずれは上記の表現が罷り通って

しまうのであろうが、敬語の誤用・ラ抜き言葉への反撥は、生涯かけて持ち続けたいと意気込んで

また、これも

若年層に多いが「行かざる、おえない」の如き耳障りな発音をよく耳にする。正しくは「行かざるを得ない」であって、「～せざるを得ない」の文脈・意味が分からず、「責任負えない」などとの混同からか、「を得ない」を一語と勘違いしているかの如きイ

ントネーションに屢次逢着する。「止むを得ず」も同源の措辞であるが、語成が分からず、「○月○日、やもうえず休店します」との、ラーメン屋の貼紙を見たこともある。発音上の音韻類同が惹起した事象であるが、これらの事例は、日本語の語構成の理解不足に起因するもので、いずれも文語調の言い廻しである点が共通するので、古語の口調に慣れることが要請されよう。古典文学に親しむことを推奨する所以である。

尤も、古典に習熟することで、正しい日本語を完璧に習得できるわけではないが、鴎外・漱石など近代文学分野の作品にも、現今からは古典的表現の範疇に入る表現・言い廻しが随所に見出されるので、古典のみならず、日本文学全般を対象にして、正しい日本語・きれいな表現を掘り起こし、自己の言語として身に付けるよう心掛けたい。

携帯電話の普及に伴って、表現手段としての言葉の簡素化、語彙の漸減化が危惧される。日本人の先祖が創造し、彫琢して来た日本語は、漢字・平仮名・片仮名・そしてアルファベットをも含め四種の文字を用いることにも顕著な如く、高度に発達した言語であることに誇りを持ち、いつまでも大切にしたいと思う。



06 社会福祉学科 准教授
川口 一美

〈担当科目：社会福祉学Ⅱ、社会保障論Ⅱ、ソーシャルワーク調査法Ⅰ・Ⅱ、社会調査法Ⅰ・Ⅱ〉

「自分の人生をデザインすることの重要性」



「自分の人生が思い通りに
なったら良いのに…」そんな
風に思ったことはありませんか。

人の命はいつ尽きるか誰
にも分かりません。ですが、
その命を最後まで、自分ら
しく全うするためにできる

ことがあります。

自分の人生を最後まで自分らしく全うするためにできる3つのこと。①自分の人生の計画を立てること。②生活のバランスを考えること。③予防をすること。これらに共通するのは、どれも「日々の生活を先へ活かす」という事です。

例えば、①の自分の人生設計を立てるという事は、ライフプランやキャリアデザインという言葉もあるように、自分の人生をどう過ごすかを考えること。とりわけ、この聖徳通信を目にする若者以上中高年未満の方たちは、寿命を85歳とすれば、今後やってくる定年後約20年の老後をいかに過ごすかを早めに考えることが重要になります。(具体的に誰とどこに住み、どんな生活をするのか、自分の周りの人や物、使えるものを早くから構築しておくのがPOINT) 現在の高齢者女性は老後に至るまでの(人間関係や地域)ネットワークを活用し生活しています。一方男性は、定年後会社から離れ、そこからネットワーク作りをはじめる人が多く、老後へのソフトランディングが難しいと考える方もいます。(ただ、今後定年まで働き続ける女性が増えれば、今の女性の老後のネットワーク構築が同じようにでき

るかどうかは疑問です)

②の生活のバランスを考えることについては、例えば近年よく耳にするワーク・ライフ・バランスが良い例です。これは例えば、女性であれば、結婚、出産等も含めどのようなバランスで働くのが良いのかまた、その時々に変化させ、選択していくものです。男性も同様で、老後がこれまでのイメージの「老後=隠居」ではない現在、どのようなバランスで生活していくのかを決め、実践する必要があります。

③予防をすること。これについては、日々元気でいることが重要になります。介護保険も医療保険も「予防」を組み込んだ形にシフトしています。結果的に健康である(病気等とうまく関わりながら生活できる)ことがお金がかからず、自分らしく生きられるコツなのかもしれません。

これらの①～③は1回行えば良いのではなく、家族や地域の中で自分の人生を見直し、バージョンアップを繰り返す必要があります。さあ、今から今後の人生の計画を考え、準備できることをはじめましょう。

その際、これまでの人生を振り返り、自分の人生の意味を自分の中で再構築すること「じぶん良いじゃない!？」そう思えること、それもまた大切な、しかも前に進むための原動力になるかもしれません。



アンケートにご協力ください。

切り離して手順通りに折り、そのままポストに投函してください。

オンライン聖徳通信アンケートにもご協力ください。

http://www.seitoku.jp/tk/tk_info/tk_info.html

こんにちは『聖徳通信』です！

『聖徳通信』では、学習上で役立つ情報のさらなる充実を目指し、アンケートを定期的に行っております。

今回のテーマは「レポート&科目終了試験」です。以下の項目にしたがって、回答してください。回答できる項目だけでも結構です。聖徳通信を通して学友のみなさんと情報交換をしましょう。

※強制するものではありません。

◆学科および在住県 _____ 学科 _____ 県在住（掲載必須）

◆氏名（イニシャル可） _____（掲載可能な場合のみ記載）

Q1 レポートを作成する上で悩みがあればお聞かせください。

A1

Q2 レポート作成で印象に残っている科目はありますか。

A2

科目名：

理由：

Q3 科目終了試験に向けて何時間勉強をしていますか。おもな学習場所も教えてください。

A3

〈時間〉

平日平均 _____ 時間（主な学習時間帯 _____ 時～ _____ 時）

休日平均 _____ 時間（主な学習時間帯 _____ 時～ _____ 時）

〈場所〉

☐家 ☐図書館 ☐電車やバスなどの移動中 ☐喫茶店・ファミレス
☐その他（ _____ ）

Q4 科目終了試験に向けてどのような学習をしていますか。

A4

Q5 科目終了試験で行き詰った時、どのように解決しましたか。

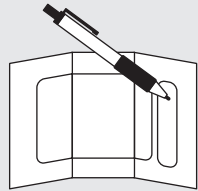
A5

●今後取り上げて欲しいテーマやご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。
通信教育学務課 『聖徳通信11月号』アンケート係

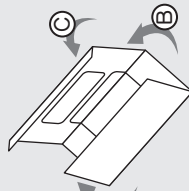
アンケートの郵送手順

1



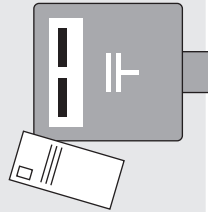
本誌から切り取り
アンケートを
ご記入ください。

2



のりを塗り、
④③②の順番で
折り込んで
ください。

3



切手を貼らずに
ポストに投函
してください。

FAXでも受付けています

アンケートは郵送だけでなく、FAXでも受付けています。
下記番号までお送りください。

聖徳大学 通信教育学務課

FAX047-331-7422

271-8750

千葉県松戸市岩瀬550
聖徳大学 5号館2階

聖徳大学 通信教育学務課
聖徳通信アンケート係行



料金受取人払郵便

松戸支店承認

1030

差出有効期限
平成26年2月
25日まで
(切手不要)



この部分を折って封をしなさい。

ヤマ折り

ヤマ折り

②ヨリ

ヤマ折り